

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	教育委員会		
	課 名	スポーツ文化課		
	係 名	文化係		
	記 入 者	岩田 翔	電話(内線)	615

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	計画 予算	市民文化センター改修事業			(3) 事業の 優先度	B
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市		
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)	
② 施策コード	44102		(総合計画掲載ページ 111 ページ)				会計区分	一般会計	
基本目標(政策)	4		未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)				財源区分	市単独	
基本施策	4		個性豊かな芸術文化の創造(芸術・文化)				予算科目	款 10 項 5 目 7	
施策			芸術文化を楽しむ機会の充実				予算書上の	文化施設設備整備事業	
施策内容			文化施設の整備				事業名称	(予算書 172 ページに掲載)	
(5) 事業期間					(8) 事務分類		自治事務		
	開始	平成	16	年	4	月から			
	終了			年		月まで(年)	根拠法令		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者（だれを・何を）	(3) 事業内容（具体的に何を行うのか、そのために何を行うのか）	
市民文化センター		
(2) めざす姿（どのような状態にしたいのか・意図）		
アクロスは開館後20年以上が経過し、建物本体及び設備の劣化が進んでいるので、施設及び設備の改修工事を行い、市民が安全かつ有効に活用できるようにする。	1. 屋根改修(改修済) 2. 空調設備改修 3. 舞台設備改修 4. 照明設備改修 5. 音響設備改修 6. 外構設備改修 7. その他設備改修	
	■ 事業の全体計画（※計画等がある場合、H24年度末時点で記入）	
	・ 総事業費	千円 ・ 進捗率 %
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など（※ 1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし）		
アクロス開館後20年以上が経過し、施設や設備の耐用年数を超えたことで故障等が多くなっていたため、利用者の安全性や利便性を確保するため、改修事業を開始した。		

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績・決算額（千円）		予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		24 年度		25 年度		26 年度		27 年度		28 年度	
(1) 事務事業費の コスト	事業費	空調設備改修						10,000			
		照明設備改修		3,150	28,000	50,000					
		音響設備改修								10,000	
		駐車場舗装工事		34,986							
		インターロッキング改修工事		1,102							
		ソーラー街路灯設置工事		14,091							
	合計		53,329	28,000	50,000	10,000	10,000				
	財源	国庫支出金（千円）		14,091							
県支出金（千円）											
地方債（千円）		26,200	21,000	37,500	7,500	7,500					
その他特定財源（千円）											
一般財源（千円）		13,038	7,000	12,500	2,500	2,500					
合計（千円）		53,329	28,000	50,000	10,000	10,000					
補助・起債制度名		再生可能エネルギー導入 促進事業補助金 茨城県振興基金	茨城県振興資金								

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

施設・設備の改修にあたっては、国や民間企業からの各種補助金制度を積極的に導入し、市の財政負担を軽減していく。

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	改修を行う施設・設備	目標値			照明設備	照明設備	空調設備	音響設備
		実績(見込) 値		照明設備・駐車場・その他				
		目標値						
		実績(見込) 値						
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標	施設・設備の改修率	目標値	%		38	44	50	56
		実績(見込) 値			32	38		
		達成率			%	%		
		目標値						
		実績(見込) 値						
		達成率			%	%		

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。	
施設全体・設備の大規模な改修は財政的にも困難であるため、日常の保守点検を実施しながら、必要最小限の改修を実施していく。	

(2) 項目別評価

評価項目		評価の指標		客観的評価点及び評価理由		
1. 目的妥当性		①事業の必要性,緊急度は高いですか？		5	ますます必要性は高くなっている(または、緊急性が極めて高い)	
		②行政が実施すべき事業ですか？		5	行政以外には実施できない事業である	
		③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？		4	目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している	
14	A	補足	開館後20年以上が経過し、使用耐用年数を経過している施設や設備もあるため、早急な改修が必要である。施設の管理については、指定管理者制度により、管理・運営を財団法人結城市文化・スポーツ振興事業団に委託しているが、結城市所有の施設のため、必要な改修は市で行う必要がある。			
2. 効率性		④事業の手段（やり方）は適切ですか？		2	現在のやり方にはやや問題がある	
		⑤コスト効率、人員効率は高まっていますか？		1	効率はかなり悪化している(コストはかなり増加している)	
3	C	補足	本来であれば、全体の改修実施計画を策定し、年次計画で改修を行うことが望ましいが、策定に多額の費用がかかるうえ、その後の改修工事費の見込みが立たない。そのため、故障・不具合の多く発生する設備から応急的に対応しているため、全体的な改修期間は長期間となる見込みである。部分的な改修工事となっているため、効率はよくない。			
3. 有効性		⑥活動指標、成果指標は達成されていますか？(指標達成度)		3	どちらとも言えない	
		⑦事業の成果の進捗は順調ですか？（進捗度）		3	ある程度進んでいる	
		⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？（貢献度）		5	基本施策への効果が高く、基本施策全体をより効率化できる	
11	A	補足	徐々にではあるが、緊急性の高い施設・設備については改修工事が進んでおり、利用者の安全性・利便性は向上している。ただし、全体的な改修計画の策定は見送ることとする。			
4. 総合評価		事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。				
28 / 40		施設・設備全体の早急な改修が望ましいが、大規模な改修工事を行うことは現在の財政状況では困難であるため、日常の保守点検を綿密に行い、緊急を要する設備から、できるだけ効率的に改修を実施していくことが必要である。				
[5×8項目]						
5. 対応策・提言等		この事業をどのように改善・改革をしていきますか？				
		平成25年度 [事業実施段階 における改善点]	施設の老朽化からくる事故や、設備の故障による利便性の低下など、利用者に直接的な被害をおよぼす可能性のあるものを早急に改修し、来年・再来年度に向けて計画の見直しを行う。			
		平成26～28年度 [今後の事業見込 による改善点や 改革点]	施設・設備の改修にあたっては、国や民間企業からの各種補助金制度を積極的に導入し、市の財政負担を軽減していく。			

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	平成3年6月に開館後20年が経過し、本体及び設備等が老朽化している。今後も修理・改修・改善等をしていかなければならない。よって中長期的な改修計画を作成し適時の対応をしていく。
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う		計画額の財源を変更(H26・27・28一般財源の一部→地方債)とする。